

美馬市版SIBヴォルティスコンディショニングプログラム

(徳島県美馬市、徳島ヴォルティス、大塚製薬、R-body project、タニタヘルスリンク)

活動類型⑩その他



事例

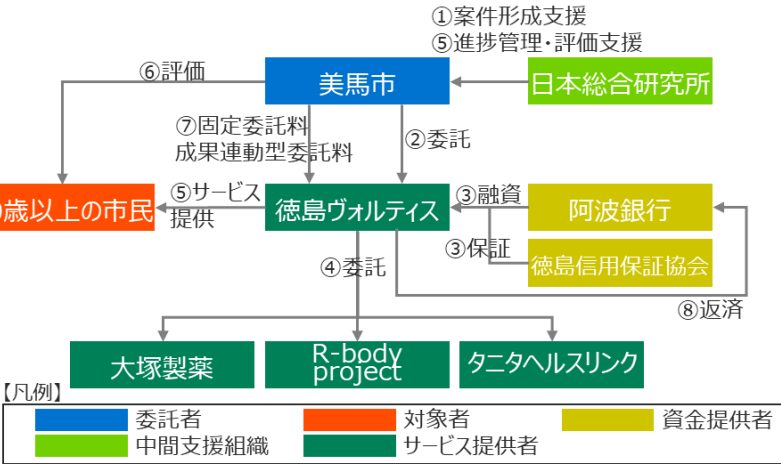
目指す成果

運動機能を改善して運動習慣の定着を図り、将来的な医療費・介護給付費の適正化を目指す。

取組背景

美馬市では、「美と健康」のまちづくりを推進。また、医療費・介護費用の適正化が課題となっている。また、徳島ヴォルティスは、地域に根付くスポーツチームとして、従来から実施する運動習慣定着の活動を、地域に成果が創出される規模で実施したいと考えており、そのためのビジネスモデルを模索していた。美馬市と徳島ヴォルティスは連携して医療・介護給付費適正化を実現するために、経済産業省平成30年度健康寿命延伸産業創出推進事業の支援を受け、PFS/SIB（※1）を用いた事業を実施するに至った。

事業スキーム



対象者	姿勢の悪さや慢性的な痛みを感じる20歳以上の市民約1,800人（治療が必要もしくは治療中の人、要介護（要支援）認定者を除く。）
事業期間	平成31年～令和6年3月（5年間）
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 運動習慣の改善度：運動習慣のない人の6割が運動習慣を有する（アンケートにて把握） 基本チェックリスト（※2）の改善度（65歳以上のみ対象）：運動器機能に係る5項目中3項目以上に該当した人の7割が2項目位以下の該当に改善する
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> 徳島ヴォルティスのコーチがプログラムを実施。初めに、参加者の健康状態等に関する事前アンケート、姿勢の撮影や身体機能をチェック。次に、集合トレーニング（ヨガマットを活用した軽微な運動を週1回）、ボディメンテゼリー摂取（週2回）、ICTデバイスによる活動量データレコード（週1回チェック）等から構成されるメニューを合計9回提供。最後に、姿勢の撮影や身体機能を再度チェックする。その後約3週間後に、事後アンケートを実施。 プログラム参加者は1クール100人とし、クールごとに8週間のプログラムを提供。プログラムは年間4クール（初年度及び最終年度は3クール）実施。

取組効果

※令和2年2月末時点

- 初年度第1クールのプログラム実施に対する評価の結果、運動習慣の改善度については、プログラム参加前は30分以上の運動を週0～1回しか行っていなかった対象者54人のうち、27人がプログラム参加後は30分以上の運動を週2回以上実施するようになった。また、65歳以上の対象者のうち基本チェックリストに3項目該当していた3人全員は、プログラム参加後該当する項目がなくなった。

（※1）PFSとは、国または地方公共団体が、民間事業者等に委託等して実施させる事業のうち、その事業により解決を目指す行政課題に対応した成果指標が設定され、地方公共団体等が当該行政課題の解決のためにその事業を民間事業者等に委託等した際に支払う額等が、当該成果指標の改善状況に連動するもの。SIBとは、PFSのうち、事業に係る資金調達を金融機関等の資金提供者から行い、その返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの。詳細は内閣府成果運動型民間委託契約方式ポータルサイト（<https://www8.cao.go.jp/pfs/index.html>）ご参照のこと。

（※2）厚生労働省「介護予防マニュアル改訂版」に示された基本チェックリスト